

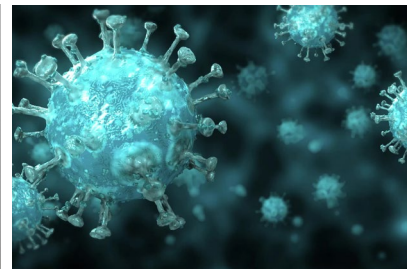


2020年9月2日

**有人環境下で使用できる紫外線「Care222™」の
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)不活化効果を確認
—新型コロナウイルス感染対策に向け応用展開へ—**

広島大学病院 感染症科 大毛宏喜教授、ならびに同大学大学院医系科学研究科ウイルス学 坂口剛正教授グループにより進められていた、ウシオ電機株式会社の222nm紫外線ウイルス不活化・殺菌技術「Care222™」を用いた新型コロナウイルスの照射実験において、新型コロナウイルスの不活化効果が確認されました。

なお、本研究成果は、2020年9月4日付けで *American Journal of Infection Control* 誌のオンライン版に掲載されます。



222nm 紫外線ウイルス不活化・殺菌技術を搭載した「Care222™U3 ユニット」(中)

Care222™ において、これまでに立証されていた人体への安全性に加え、今回、新型コロナウイルスへの不活化効果が明らかになったことで、有人環境下での紫外線を用いた新型コロナウイルス感染症に対する感染対策への応用が期待されます。